

研究課題名	アナモレリン塩酸塩錠の実臨床における使用実態と副作用発現状況調査
研究期間	実施許可日 ～ 2026年 3月 31日
研究の対象	2021年6月30日～2025年3月31日の期間にがん悪液質に対してエドルミズが投与された患者さん。
研究の目的・方法	研究目的：当院でのアナモレリンの使用条件の遵守率を明らかにすること、および、不遵守時の副作用の発現頻度を調査することでアナモレリンの適正使用につなげます。 研究の方法：2021年4月から2025年3月の間に広島大学病院（当院）で悪液質に対し、アナモレリンが投与された患者について、電子診療録を用いて、後ろ向きに調査します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：①患者基本情報…年齢、性別、体重 ②血液検査データ(アナモレリン服用開始時点、服用後3週間時点、服用後12週間時点、中止・減量等のイベント発生時に抽出)…白血球数(WBC)、ヘモグロビン(Hb)、リンパ球(Lymp)、アルブミン(Alb)、総ビリルビン(T-Bil)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)、 γ -グルタミルトランスペプチダーゼ(γ -GTP)、アルカリホスファターゼ(ALP)、クレアチニン(Cr)、C反応性タンパク質(CRP)、補正QT間隔(QTc)、HbA1c、Glu ③治療内容…がん種、病期(Stage)、アナモレリン開始時の治療ライン、アナモレリンの内服期間、使用開始3週間時点での効果判定の有無(前後1週間程度の猶予を設定)、中止時期及びその理由、栄養士の関与の有無、食事摂取量 試料：なし 情報の管理責任者：広島大学病院薬剤部 松尾裕彰
利用または提供を開始する予定日	2025年3月26日(実施許可日)以降
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果

が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 薬剤部

担当者：薬剤師 岡本花乃

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5579